令和８年度　名古屋市教育委員会　報告第７号

名古屋市図書館第１ブロックの施設整備の検討状況について

目　　次

頁

１　　名古屋市図書館第１ブロック施設整備方針・・・・・・・・・・・・　１

２　　アクティブライブラリーの整備・・・・・・・・・・・・・・・・・・　２

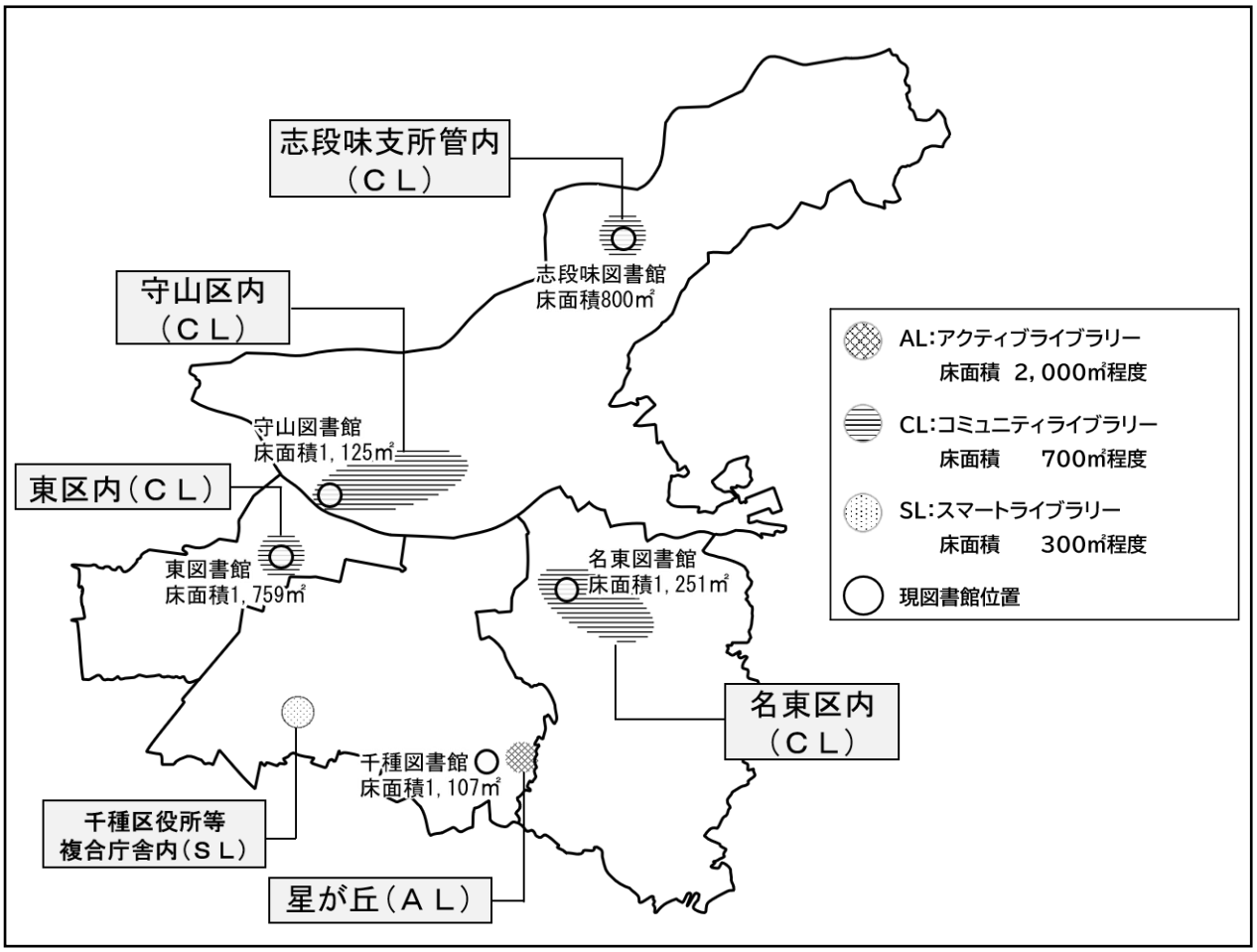
（令和８年10月５日提出　生涯学習部生涯学習課、鶴舞中央図書館）

1　名古屋市図書館第１ブロック施設整備方針

「なごやアクティブ・ライブラリー構想」に基づき、第１ブロック（千種区、東区、守山区、名東区）の施設整備に係る方針を令和３年１１月に策定したもの

区　分	内　容
アクティブ ライブラリー	○ブロックの中核となる図書館 ・星ヶ丘駅周辺に新たに整備
コミュニティ ライブラリー	○気軽に来館でき、ゆったり滞在できる身近な図書館 ・東図書館、志段味図書館 リニューアル改修等に合わせて整備 ・守山図書館、名東図書館（令和７年２月改正） 区内公共施設の再編状況等を勘案しつつ整備
スマート ライブラリー	○便利な場所で、本と出会い、貸出・返却できる図書館 ・千種区役所等複合庁舎内に整備

【第１ブロック全体図】



２　アクティブライブラリーの整備

（１）経緯

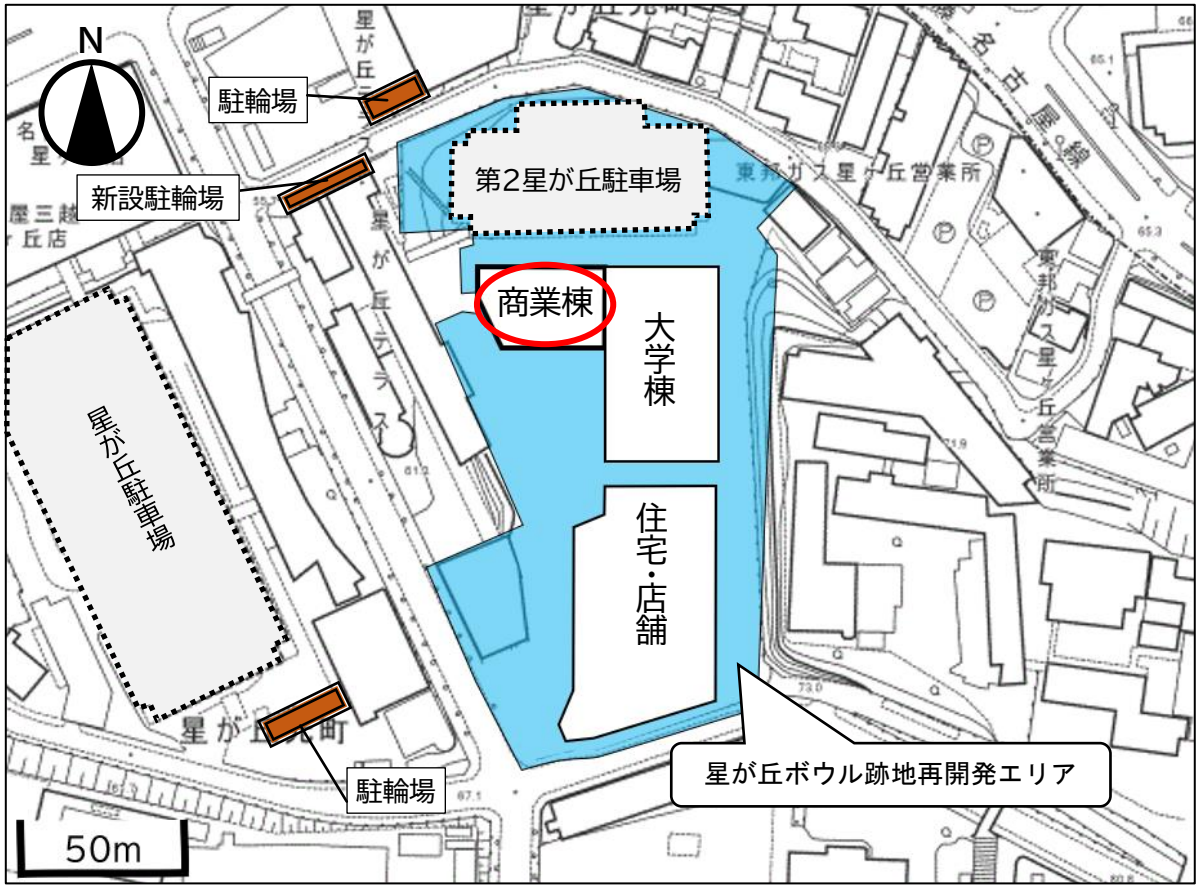
区　分	内　容
平成２９年１２月	「なごやアクティブ・ライブラリー構想」の策定
令和　３年１１月	「名古屋市図書館第１ブロック施設整備方針」の策定
６年１２月	所管事務調査「名古屋市図書館第１ブロックの施設整備について」の実施
７年　３月	令和７年度予算成立（整備関係経費）
７月	東山遊園株式会社（以下「地権者」という。）と基本協定を締結
８年　１月	地権者が工事施工者と工事請負契約を締結
３月	令和８年度予算成立（整備関係経費）
４月	内装整備事業プロポーザル公募開始
８月	内装整備事業契約締結

（2）概要

ア　位置図



イ　配置図



ウ　施設概要

区　分	内　容
所在地	名古屋市千種区星が丘元町１６０１番８
建築面積	１，１６９．０４㎡
延床面積	１，８７４．８６㎡（９３７．４３㎡×２フロア）
総事業費	約２３億円
フロア構成	３階及び４階　図書館 （参考　１階及び２階　書店 ５階　地権者事務所 ６階　小劇場）
駐車場	民間有料駐車場を利用（総台数：約１，４００台）
駐輪場	民間無料駐輪場を利用（総台数：約２００台）

エ　事業スキーム

（ア）本市と地権者が協定を締結し、本市は地権者に図書館部分（３階及び４階）整備に係る負担金を支払

（イ）地権者と工事施工者が工事請負契約を締結、工事請負代金は地権者が本市分を含めて工事施工者に支払

（ウ）内装整備は別途、本市が設計施工一括契約を締結

オ　外観イメージ



（注）南西側から望む

カ　内装イメージ



（3）特色

ア　コンセプト

（ア）多くの人に来てもらう図書館

・便利でにぎわいのある立地を生かした、気軽に立ち寄りたくなる環境づくり、多様なニーズに対応したサービスの提供などに取り組む。

・現在の利用者に加え、今まで利用していない方の来館も促し、図書館利用のすそ野を広げる。

（イ）連携・協働・交流する図書館

・地域特性を生かし、多様な主体との連携や協働を促進する。

・人と本や人と人との出会い及び交流の場や機会を創出する。

・図書館と市民、近隣主体等との関わりを通じて、疑問や課題の解決や新しい気づき、新たな価値の創造につなげる。

イ　名称

第１ブロック４区の中核となるアクティブライブラリーとしてふさわしい名称を検討する。

ウ　開館時間及び休館日

コンセプトのひとつである「多くの人に来てもらう図書館」とするために、開館日・開館時間の拡大及び延長を図る。

エ　蔵書

（ア）蔵書数

最大１２万冊

（イ）考え方等

・蔵書を数多く備えることは、市民と本との出会いの機会の創出・増加につながることに加え、市民の多様な興味・関心に応えるためにも重要であり分館最多の蔵書数とする。

・近年、他都市においては、ゆったり本を読むためのスペースや、会話・飲食ができるスペース等、居心地の良い空間、市民が集う場所などを備えた図書館が整備されてきており、多くの人の支持を集めている。

・蔵書の充実とスペースの確保を勘案し、蔵書数を設定した。

・「名古屋市図書館電子書籍サービス」で提供される約２万冊の電子書籍を併せて活用する。

（ウ）蔵書の内容

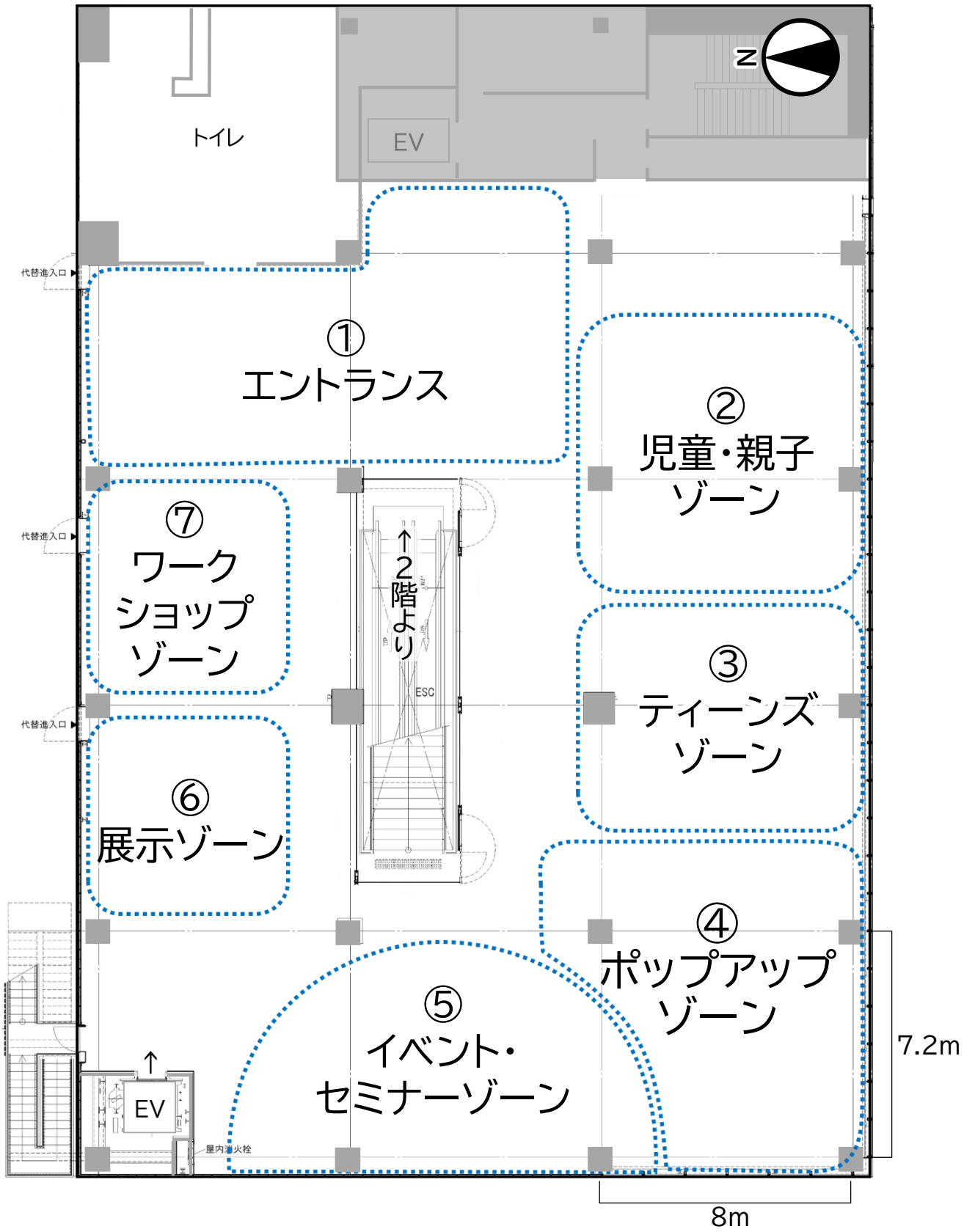
区　分	内　容
第１ブロックの中核館として必要な図書	・課題解決のための専門図書 ・第１ブロックに関する郷土資料 ・読書バリアフリー関連図書 ・各種の連携で活用する図書
地域の図書館として必要な図書	・ビジネス関連図書 ・教育、子育て関連図書 ・中高生、大学生向け図書 ・児童図書

オ　各フロアのイメージ

３階　気軽に楽しめるフロア

・興味がわき、何気なく立ち寄りたくなる

・会話や飲食ができ、周囲に気兼ねなく過ごせる

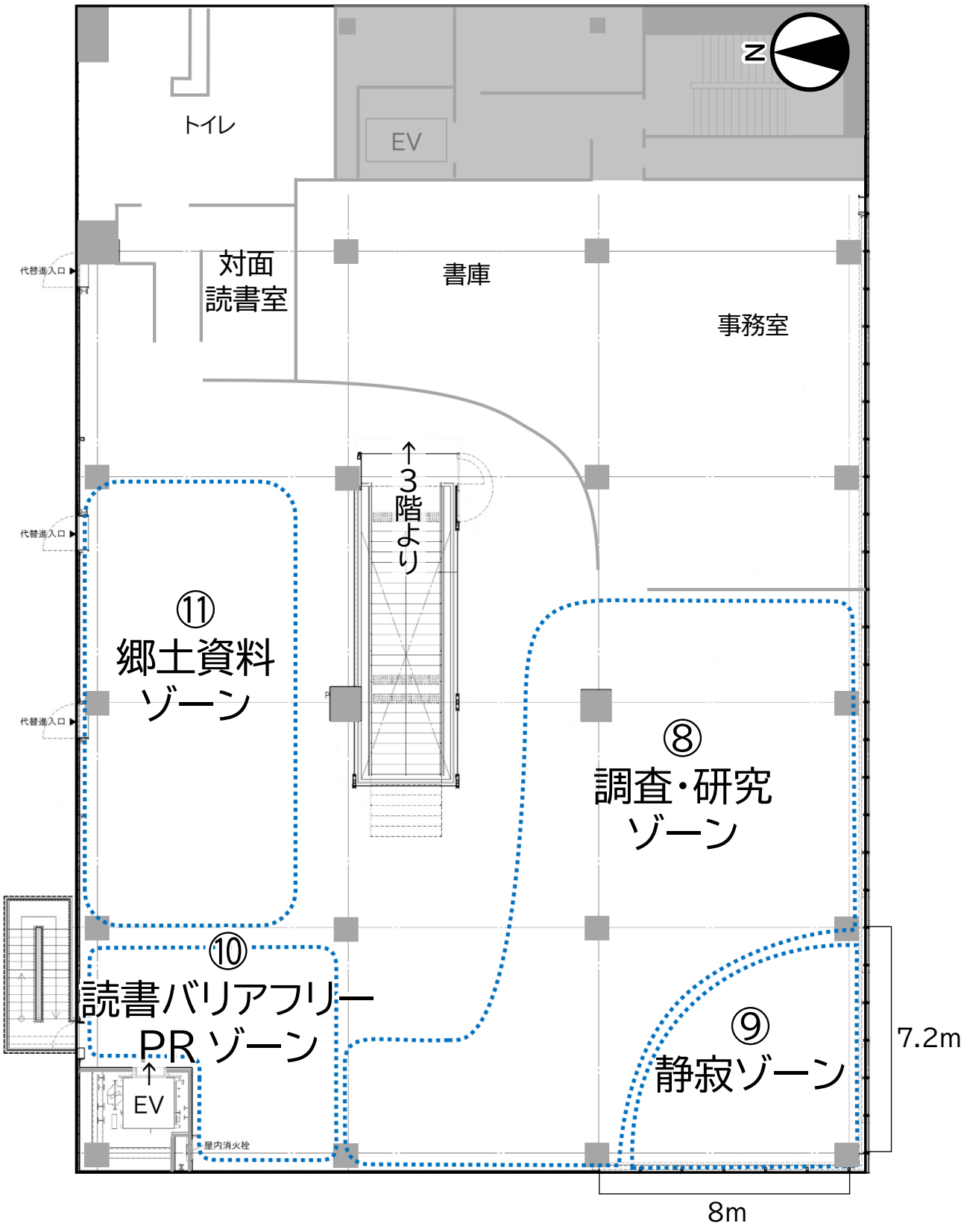


区　分	内　容
①エントランス	・新刊書や話題の本に出会える ・地域のイベント情報などが得られる
②児童・親子ゾーン	・子どもや親子が気兼ねなく過ごせる ・親子で読み聞かせなどを楽しめる
③ティーンズ ゾーン	・中高生が興味や関心を広げられる本に出会える ・若い世代が気軽に過ごせる
④ポップアップ ゾーン	・司書がセレクトしたおすすめの本などを短期間で並べ替え、思いがけない本に出会える
⑤イベント・セミナー ゾーン	・間仕切りできる空間とし、用途に応じて開閉できる ・多様なイベントやセミナーに参加できる
⑥展示ゾーン	・地域の魅力を発信する展示により、郷土の歴史や文化を学ぶことができる ・市の施策に関する展示により、生活に役立つ情報を得られる ・児童、生徒、市民が制作した作品を展示できる
⑦ワークショップ ゾーン	・開放的な空間で、多様なワークショップに参加できる ・グループで会話しながら学習できる

４階　落ち着いて過ごせるフロア

・時間を忘れて本や読書の楽しさを味わえる

・役に立つ知識や情報を得て、疑問や課題が解決できる



区　分	内　容
⑧調査・研究ゾーン	・専門書やデータベースなどを使って、ビジネスパーソンなどが調査及び研究に取り組むことができる ・司書のサポートにより、新たな気づきや課題解決のヒントを得られる
⑨静寂ゾーン	・静寂な空間で、集中して読書や学習に取り組める
⑩読書バリアフリー ＰＲゾーン	・サピエ図書館（視覚などに障害のある方を対象としたインターネット図書館）など、読書バリアフリーに関する情報を得られる ・点字付き絵本や大活字本など、アクセシブルな資料や拡大読書器を利用できる
⑪郷土資料ゾーン	・第１ブロックを中心とする愛知・名古屋の郷土資料を利用できる

カ　バリアフリー

区　分	内　容
エレベーター	・来館者用エレベーター１台（１３人乗）
トイレ	・３階　子ども、バリアフリートイレ ・４階　バリアフリートイレ ・バリアフリートイレはオストメイト対応、大型ベッド
情報・案内	・点字ブロック（エレベーター乗降口、カウンター、トイレ等） ・触知案内板
図書館機能	・車いす席（昇降式テーブル） ・対面読書室 ・拡大読書器
図書館までのアクセス	・地下鉄星ヶ丘駅出口から点字ブロック
その他	・光警報装置 ・カームダウンスペース

キ　第１ブロックの中核としての役割

区　分	内　容
本や情報を通して人々が出会い、アクティブに活動することができる図書館	・児童、生徒の活動や学習の成果を図書館で発表 ・児童、生徒と協働した企画展示の実施 ・市民、団体など多様な主体との地域連携事業の実施 ・地域の書店と連携した本との出会いの機会の創出 ・ボランティアの育成や活動の支援
地域のシンクタンクとしての図書館	・課題解決のための専門図書、郷土資料などの充実 ・専門職の司書によるレファレンス ・地域の魅力を発信するイベント等の開催 ・地域の防災の啓発に役立つ展示等の実施 ・地域の専門家による講座等の開催
ネットワークとアウトリーチの拠点となる図書館	・学校図書館の選書や運営の支援 ・学校司書に対する研修や情報提供 ・自動車図書館が地域のイベントなどに出動 ・指定管理館の運営支援 ・指定管理館のモニタリング実施

（4）説明・意見聴取

区　分	対　象
令和６年度	・名古屋市図書館協議会 ・第１ブロックの地域役員 ・千種区区政協力委員協議会 ・千種区民（在勤・在学を含む） ・市民（市政アンケート調査） ・第１ブロックの市民・図書館利用者（アンケート調査）
令和７年度	・名古屋市図書館協議会 ・千種区区政協力委員協議会 ・第１ブロックの市民（在勤・在学を含む） ・バリアフリー整備相談支援事業 ・高校生及び大学生（ワークショップ）
令和８年度	・名古屋市図書館協議会 ・第１ブロックの地域役員 ・千種区区政協力委員協議会等 ・第１ブロックの図書館ボランティア ・乳幼児及び小学生の保護者（おはなし会参加者等） ・高校生及び大学生（ワークショップ）

（注１）名古屋市図書館協議会は、図書館の運営に関し館長の諮問に応ずるとともに、図書館の行う図書館奉仕につき、館長に対して意見を述べる機関（図書館法第１４条第２項による）

（注２）令和８年度は、９月末時点のものを掲げた。

（5）今後の予定

区　分	内　容
令和　９年　７月	内装工事開始
１２月	千種図書館閉館
令和１０年　４月	アクティブライブラリー開館

（注）令和９年４月以降、商業棟（図書館部分を除く）開業